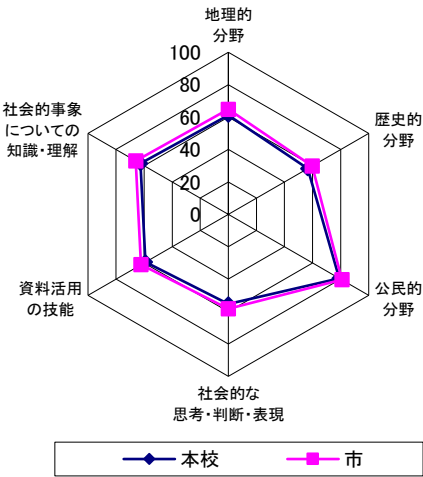


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	61.1	64.8	54.5
	歴史的分野	56.5	59.7	52.2
	公民的分野	79.0	80.9	69.4
観点別	社会的な思考・判断・表現	55.4	58.3	49.5
	資料活用技能	59.0	62.2	53.1
	社会的事象についての知識・理解	62.6	66.0	57.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	○世界の州区分や日本の河川について問う問題では、正答率が市の平均を上回っている。 ○中国・四国地方の農業について資料から読み取る問題では、市の平均より4.3ポイント高い。 ●日本の漁業の変化について、資料をもとに考察し表現する問題では、市の平均より6.3ポイント低い。 ●日本の人口分布の特色と課題について、資料をもとに考察する問題では、市の平均より7.9ポイント低い。	・一つ一つの資料を丁寧に読み取る力を育てる学習を多く取り入れ、その後、複数の資料を読み取ってわかることを、身の周りの生活と関連付けてまとめさせる学習を行うことにより、資料の活用能力、社会的な思考能力を伸ばす。
歴史的分野	○江戸幕府による全国支配について資料から判断する問題や、政策についてその特色を資料をもとに判断する問題では、市の平均を上回っている。 ●飛鳥時代から平安時代にかけての歴史上の人物について考察する問題では、市の平均より11ポイント低い。	・時代の順番をきちんと押さえさせ、各時代に活躍した人物、政治の様子、産業の様子などをまとめさせる学習を行って歴史の流れをつかませる。また、地理同様、複数の資料を読み取る学習を多く取り入れる。
公民的分野	○情報リテラシーや情報モラル、またグローバル化と多文化共生社会について問う問題では、市の平均とほぼ同じか、それを上回っている。 ●効率と公正の判断基準について考察する問題では、市の平均より5.3ポイント低い。	・基本的人権の種類に関しては、平等権・自由権・社会権・基本的人権を守る権利に分け、図で示す力を育てる。 ・生徒自身の生活と結びつく身近な資料を提示し、関心を高める。